

(法第10条第1項第7号)

2020年度の事業計画書

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

1 事業実施の方針

①の事業では、犬猫合計1,000頭以上を引き取り保護することを目標とする。前年度に引き続き、これを実現するために人員の確保および施設増改築を実施する。

②の事業では、犬猫合計1,000頭を新しい飼い主に譲渡することを目標とする。また今後一層増えるであろう、譲渡が困難な成犬や成猫の対策を強化するため、成犬100頭と成猫50頭の譲渡を目標とする。

なお、飼育管理能力の指標として、譲渡までの犬の滞在日数30日以下、死亡率5%以下、猫の滞在日数60日以下、死亡率10%以下を目標とする。

③の事業では、従前から発信していた情報の見直しを行い、時代に即した情報を届けることを目標とする。

④の事業では、①で保護した動物のほか、50件の外来不妊手術実施を目標とする。

⑤の事業では、従前のおりより良い情報発信を目標とする。

⑥の事業では、新規事業を立ち上げるための準備を行う。

⑦の事業においては、単に収益をあげるのではなく、事業を通して飼い主と動物にとってより良い生活の助けとなる保険代理業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
①行政施設で殺処分される犬猫を引き取り保護・飼育する施設(アニマルシェルター)を運営する事業	保健所や愛護センターなどの行政施設で殺処分直前の犬猫を施設に保護して、譲渡のための健康管理やしつけ等を行う。 また、譲渡が困難な犬猫については、施設で生涯飼育する。	随時	法人事務所	12名	千葉県、茨城県、福井県、静岡県、山梨県、船橋市、柏市の7自治体。

②行政施設から引き取った犬猫に不妊手術を施し、新しい飼育者へ譲渡する事業	前記事業で保護した犬猫たちに不妊手術を施し、新しい飼い主に譲渡する。	随時	全国	10名	・犬猫の飼育を希望する不特定多数
③幼齢避妊去勢手術の普及と犬猫の適正な飼育を啓発する事業	団体ホームページで幼齢不妊手術についての情報提供や啓発を行う。	随時	法人事務所	2名	不特定多数
④幼齢避妊去勢手術を主たる目的とした動物病院事業	団体が保護中の犬猫の不妊手術および、保護団体や個人が保護する犬猫を対象に、幼齢不妊手術外来を提供する動物病院を運営する。	随時	法人事務所附属の動物病院	5名	・犬猫を保護する団体や個人。 ・50件の外来不妊手術実施を目標とする。
⑤この法人の特定非営利活動に係る事業に関する情報提供・サービス事業	主にインターネットを通じて、前記事業すべてに対する情報発信を行う。	随時	法人事務所	3名	不特定多数
⑥その他この法人の目的の達成のために必要な事業	新規事業を模索し、開拓し、立ち上げるために必要な調査・研究・準備等を行う。	随時	全国	1名	不特定多数

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数
⑦損害保険代理業	事業を通して飼い主と動物にとってより良い生活の助けとなる保険代理業を実施する。	随時	法人事務所	2名

以上

NPO 法人犬と猫のためのライフポート
2020 年度 事業計画書

<この事業計画書について>

この文書は、当団体を応援して下さる皆様によりわかりやすいメッセージをお届けするために、行政機関に提出する書式とは別に作成しているものです。

なお 2020 年度事業計画は、前年度未達のを引き続き達成に向けて進めていくものため大きな主旨に変更はありません。2019 年度事業計画も併せてご覧ください。

<犬と猫の保護と譲渡について>

前年度に引き続き犬猫合計 1,000 頭を譲渡目標とします。

また上記のうち、前年度未達の成犬 100 頭、成猫 50 頭の譲渡も目標とします。

当団体はこれまで子犬子猫を中心に沢山の犬猫を保護して、一日でも早く新しい飼い主さんを探すことで救命数にこだわる活動を行って参りました。そしてそれはこれからも変わりません。

しかし近年、譲渡が困難な犬や猫を保護する機会が増え続けています。その理由は後述しますが、いずれにしてもこうした犬猫たちを譲渡するためには一頭一頭に相当の時間をかけることが必要です。また施設の物理的な制約もあることから対策が急務となっています。

前年度に引き続き皆様の応援をよろしく願いいたします。

なお、保護状況が流動的なため、犬猫別の目標は設定せず、合計で 1,000 頭とします。ただし体調管理等のノウハウが違うため、飼育指標目標は犬猫別に設けました。

目標	受入数	譲渡数 (うち成犬・成猫)	滞在日数	死亡率
犬	-	-	30 日以下	5%以下
猫	-	-	60 日以下	10%以下
合計	-	1,000 頭 (100 頭・50 頭)		

<譲渡が困難な成犬・成猫の対策について>

2019 年度に引き続き下記を進めて参ります。

犬

- 怖がりな犬の人慣れ訓練や性格の把握など、もらってもらい上でのメリットを増やす施策
- ウェブサイトやSNSなどを通じて知ってもらい機会を増やすとともに、里親になるというアクションを起こしてもらいための施策。
- 上記を実施するためのスタッフのレベルアップ、ボランティア募集など。

猫

- ウェブサイトやSNSなどを通じて知ってもらい機会を増やすとともに、里親になるというアクションを起こしてもらいための施策。
- 面会環境の改善など、成猫たちの魅力を知ってもらいための施策。

<人材教育・人材活用の強化について>

以前からの課題であった人材の確保を進めるために、昨年度（2019年度）はスタッフの教育強化に着手しました。これまでには忙しさにかまけて「見て覚えてもらう」という方法を取らざるを得ませんでした。しかし価値観が多様化する中、これまでのような仕事の教え方が困難な場面も増えてきました。そこで昨年度は幹部スタッフの教育の役割を明確にし、各スタッフの成長を促す試みを始めました。結果が出るまでは時間のかかることですので2020年度も引き続き実施して参ります。

<犬のマイクロチップ全頭導入について>

2017年の開始から3年が経過しノウハウも構築できました。しかし世間では未だマイクロチップに対する誤解があったり、挿入しただけで正しい登録がなされず有効に機能していない例が見られます。これまでの知見を当団体からも発信することで、正しい活用方法を普及したい考えです。

<外来不妊手術について>

2020年度の外来不妊手術目標は年間50頭とします。前年度の半分となりますが、未来のための人材育成や成犬の譲渡促進など、団体としてより優先順位の高い活動に注力するためです。

<新たな施設の開設について>

前年度に目立ったご報告が出来なかった施設の開設・拡張について、引き続き2020年度も準備を進めて参ります。

<新型コロナへの対応について>

新型コロナウイルスの流行により当団体の活動も一定の制限を受けざるを得ない状況になりました。とは言え、保護動物たち生活は施設で働くスタッフなしでは成り立ちません。感染症のまん延を可能な限り防ぎつつ、活動を継続いたしますので皆様のご理解と応援をよろしくお願いいたします。

詳細な方針は今後もウェブサイトでご報告させていただきます。

以上が2020年度の事業計画です。

これからも皆様のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

2020年5月17日
NPO 法人犬と猫のためのライフポート
理事長 稲葉友治